

学校経営推進費評価報告書（2年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立高槻北高等学校 全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国公立大学及び難関私立大学（関関同立）述べ合格者の増加 ・ センター試験にチャレンジする生徒数の増加 ・ 希望進路実現率（自己の第1希望）の向上 ・ 授業アンケートと学校教育自己診断における生徒の授業満足度の向上 ・ ICT稼働率の向上
計画名	坂の上の輝く青春～進路実現に向けて～

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>【中期的目標】</p> <p>1 学力・進学保障—生徒のモチベーションを向上させ、学力の向上と進路目標の実現を図る</p> <p>（1）教志コース（教員養成系コース）を定着させる。</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ コース生が講義記録と報告、実地実習の記録と報告、レポート課題の作成等を主体的に行うことにより、進学意欲や ICT 活用能力の向上を図るとともに、学習内容や学習評価の合理化、効率化、適正化を図る。</p> <p>（2）学力向上・進路目標実現のための3年計画（「北高スタンダード」）の活用を図る。</p> <p style="padding-left: 20px;">エ 授業の工夫・改善（ユニバーサルデザイン化、アクティブラーニングの導入等）を推進し、思考力・判断力・表現力の伸長を図る。</p> <p>【本年度の具体的な取組み計画】</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 電子黒板機能付きプロジェクターを活用するなど ICT を活用した授業を実施することにより、思考力、判断力、表現力の向上につなげる。</p>
事業目標	<p>① ICT 活用による授業の工夫・改善（ユニバーサルデザイン化、アクティブラーニングの購入）を強力に進め、「充実した質の高い、わかりやすい授業」「教員の授業力向上」につなげる。</p> <p>② 生徒の主体的・協働的な学びを促し、本校生徒の課題（弱点）である思考力・判断力・表現力の伸長を図り、希望である進路の実現につなげる。</p> <p>③ 「教志コース」（専門コース）における外部講師の講義や生徒の実習報告会等に活用することで、「教志コース」の充実を図り、先生になりたいという進路希望の実現につなげる。</p>
整備した 設備・物品	<p>2・3年生 HR 教室に電子黒板プロジェクター（17台）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無線 LAN アダプタ、ケーブル収納ボックスを含む。 ・ なお、1年生については上記設備を導入済であり、教育効果を高めている状況である。
取組みの 主担・実施者	<p>主担： 授業改革PT（教頭・首席・教務主任・ICT委員長ほか）</p> <p>実施者： 全教員</p>
本年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改革PTによる年間計画策定（4月） ・ ICT活用の授業実践（通年）、教科ごとの授業研究（～7月） ・ アクティブラーニングをテーマにした職員研修（8月）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員相互の授業見学（6月・10月） ・ 授業アンケート及び学校教育自己診断で効果検証（9月、1月） ・ PT及び各教科による本年度総括と次年度の計画案検討（2月）
成果の検証方法 と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国公立大学及び関関同立のべ合格者数を生徒数の40%以上(160名以上)(H27実績100名)(H28実績145名)(H29実績138名) ・ センター試験にチャレンジする生徒数を生徒数の60%以上(240名以上)(H27実績149名)(H28実績216名)(H29実績234名) ・ 第1希望の進路目標を達成できた生徒の割合を80%以上(H27:83%)(H28:83.6%)(H29:75.4%) ・ 授業アンケートで「授業に興味・関心を持つことができた」の項目の平均値を3.1以上(H29:3.1) ・ 授業アンケートで「授業を受けて、知識や技能が身についた」の各項目の平均値を3.1以上(H27:3.11)(H28:3.05)(H29:3.2) ・ 学校教育自己診断で「学習環境に満足している」という生徒の満足度を80%以上(H27:79%)(H28:78.6%)(H29:78%) ・ 教員のICT活用者を全教員の60%以上(H28:57.4%)(H29:66%)
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国公立大学及び関関同立のべ合格者数生徒数の40%以上(160名以上).....(H30:78名)(△) ・ センター試験にチャレンジする生徒数生徒数の60%以上(240名以上).....(H30:208名)(△) ・ 第1希望の進路目標を達成できた生徒の割合80%以上.....(H30:71.4%)(△) ・ 授業アンケートで「授業に興味・関心を持つことができた」3.1以上.....(H30:3.1)(○) ・ 授業アンケートで「授業を受けて、知識や技能が身についた」3.1以上.....(H30:3.2)(○) ・ 学校教育自己診断で「学習環境に満足している」という生徒の満足度を80%以上.....(H30:70%)(△) ・ 教員のICT活用者を全教員の60%以上.....(H30:94%)(◎)
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改革PTによる年間計画策定（4月） ・ ICT活用の授業実践（通年）、教科ごとの授業研究（～7月） ・ 本校教諭の実践発表による職員研修（8月） ・ 教職員相互の授業見学（6月・10月） ・ 授業アンケート及び学校教育自己診断で効果検証（9月、1月） ・ PT及び各教科による本年度総括と次年度の計画案検討（2月） ※ 電子黒板プロジェクター等の教員の活用率は大幅に向上しているが、近年の大学合格者の厳格化の影響もあるためか、生徒の進路実現にすぐには効果が出ていない。 ※ この現状を踏まえ、①各教科においてさらにICTの授業コンテンツの充実を図る。 ②以下の新たな指標を追加する。 ・ 国公立大学及び関関同立のべ合格者数生徒数の40%以上(160名以上)(H30:78名) ・ センター試験にチャレンジする生徒数生徒数の60%以上(240名以上)(H30:208名) ・ 国公立大学及び関関同立のべ合格者率を15%(H30:12.8%) ・ 第1希望の進路目標を達成できた生徒の割合80%以上(H30:71.4%) ・ 授業アンケートで「授業に興味・関心を持つことができた」3.2以上(H30:3.1) ・ 授業アンケートで「授業を受けて、知識や技能が身についた」3.2以上(H30:3.2) ・ 学校教育自己診断で「学習環境に満足している」という生徒の満足度を85%以上(H30:70%) ・ 教員のICT活用者の割合全教員の80%以上(H30:94%)